

# 語学ビジネス市場に関する調査結果 2009

—景気低迷により 2008 年度は全体市場規模縮小も、  
ビジネス向け、マンツーマンレッスン、語学試験市場等は堅調—

## 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の要綱にて「語学」に関わるビジネスの市場調査を実施した。

1. 調査対象：外国語学校、出版社、電子辞書メーカー、ソフトメーカー、e-learning 事業者、通信教育事業者、語学学習教材販売事業者、資格試験運営団体、留学斡旋業者、通訳・翻訳ビジネス事業者等
2. 調査期間：2009年4月～6月
3. 調査方法：当社専門研究員による直接面談取材及び、電話・FAXによるヒアリングを併用

### ＜語学ビジネス市場とは＞

本調査における語学ビジネス市場とは、外国語教室全体市場、幼稚園・保育園向け英語教師派遣市場、書籍教材市場、語学独習用機器・ソフト、電子辞書市場、幼児向け英会話教材市場、通信教育市場、e-learning 市場、ソフトウェア市場、語学試験市場、留学斡旋市場、通訳・翻訳ビジネス市場、英語以外の他国語市場（通信・通学）市場を指す。このうち、語学試験市場、留学斡旋市場、通訳・翻訳ビジネス市場は「周辺ビジネス」として定義した。

本調査より、「幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場」を語学ビジネスとして新たに組み入れており、過去の市場規模も遡及して修正している。

## 【調査結果サマリー】

### ◆ 2008 年度の語学ビジネス総市場規模（周辺ビジネス含む）は、 前年度比 5.2%減の 7,672 億円に

2008 年秋頃からの不況による個人消費の低迷や、法人顧客の経費（語学研修、翻訳費用等）削減、当時業界トップであった事業者が 2007 年 10 月に破綻した影響により消費者に業界に対する不信感が残っている事等から、2008 年度の語学ビジネスについて、周辺ビジネスを含めた市場規模は前年度比 5.2%減の 7,672 億円、周辺ビジネスを除いた語学ビジネス市場は、前年度比 5.5%減の 5,158 億円であった。

### ◆ 2009 年度は引き続き市場縮小見込みも、 就学前児童ターゲットビジネスや語学試験は堅調

2008 年度に引き続き、不況の影響で多くの事業者の売上が伸び悩むと見られる事から、2009 年度の語学ビジネス総市場は、前年度比 3.7%減の 7,386 億円、周辺ビジネスを除いた語学ビジネス市場は、前年度比 4.0%減の 4,950 億円と予測する。

しかしながら、プリスクールや幼稚園・保育園向け英語講師派遣といった、就学前の児童をターゲットとしたビジネスや、語学試験については 2009 年度の拡大を予測する。

### ◆ 資料体裁

資料名：「語学ビジネス徹底調査レポート 2009」  
 発刊日：2009年7月6日  
 体裁：A4判 405頁  
 定価：税込み 115,500円（本体価格 110,000円）

### ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝

設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社 HP から承っております <http://www.yano.co.jp/>）

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報・PR グループ TEL：03-5371-6912 E-mail: [press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
 本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報・PR グループ迄お問合せ下さい。

## 【調査結果の概要】

### 1. 市場概況

2008年度の語学周辺ビジネスを含めた語学ビジネス総市場は、前年度比5.2%減の7,672億円、周辺ビジネスを除いた語学ビジネス市場<sup>注</sup>は、前年度比5.5%減の5,158億円であった。

2007年10月における業界トップ事業者破綻や、それに付随する業界全体のイメージダウンにより市場は冷え込んだものの、個々の事業者の努力や、消費者保護の動きの高まりによって業界全体が健全化され、市場は安定化すると見られていた。しかしながら、業界トップ事業者破綻の余波や個人消費の低迷により個人顧客が減少していることに加え、2007年度まで好調に推移していた翻訳・通訳、企業向け語学研修といったB to Bの売上が、不況に伴う顧客企業のコスト削減により減少した事等から、市場規模は2007年度に引き続き縮小となった。

注: 本調査より、「幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場」を語学ビジネスとして新たに組み入れており、過去の市場規模も遡及して修正している。

### 2. 注目すべき動向～主な分野別市場の動向

2008年度は、語学ビジネス市場全体は縮小となったが、以下の分野別市場は拡大もしくは堅調に推移していることが特筆すべき点として挙げられる。

- ・プリスクールや幼稚園・保育園向け英語講師派遣といった、就学前の児童をターゲットとしたビジネスは、早期英語教育への関心の高まり等から好調であった。
- ・語学試験市場は、ビジネスシーンにおける外国語スキルの需要が高まっていることから堅調に推移した。
- ・書籍教材については、米国大統領の演説をモチーフとした書籍等、ベストセラーが相次いだことから市場規模拡大となった。
- ・成人向け外国語教室は、トータルでは前年度比9.1%減の2,000億円となったものの、ビジネスにおいて外国語を使用する機会が増え続けていることや、それに伴うニーズの細分化等から、ビジネスニーズ市場、マンツーマンレッスン市場は比較的好調であった。

### 3. 将来展望

2009年度も引き続き不況の影響で多くの事業者が伸び悩むと見られることから、語学周辺ビジネスを除いた語学ビジネス市場は前年度比4.0%減の4,950億円、周辺ビジネスを含めた語学ビジネス市場は、前年度比3.7%減の7,386億円と予測する。

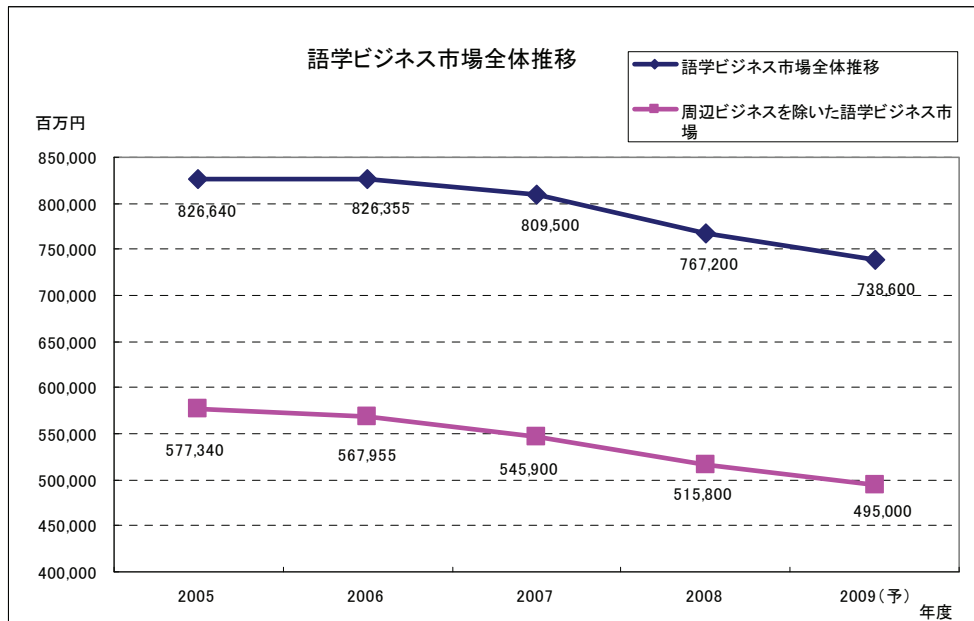
しかしながら、中長期的に見ると、小学校における英語学習必修化を盛り込んだ新学習指導要領の実施(2011年度)直前や、実施後に子供向け語学ビジネス(幼児・子供英会話教室市場等)の需要増が期待される。また、ビジネスパーソンの外国語学習ニーズの高まりも市場活性化の要因となり得る。

更に、翻訳・通訳市場についても、2008年度から2009年度は不況の影響で翻訳作業等の内製化が進んでいることから若干の縮小となっているものの、グローバル化による日系企業の海外進出や、海外企業との取引の増加は進んでいることから、長期的には拡大が見込まれる。

表 1. 語学ビジネス市場分野別市場規模

●本調査における語学ビジネス市場の分類			
分類	詳細	08年度市場規模 (百万円)	前年度比
<b>■語学スクール</b>			
外国語教室全体市場	英語・多言語を含めた全体の外国語教室市場	320,700	-5.6%
成人向け外国語教室市場	外国語教室全体市場のうち、成人向けの教室	200,000	-9.1%
{ ビジネスニーズ市場	ビジネスを目的に外国語教室に通うユーザーを対象とした売上高	112,600	-1.5%
{ 趣味・教養ニーズ市場	趣味・教養や留学準備等、ビジネス以外の目的で外国語教室に通うユーザーを対象とした売上高	87,400	-17.3%
{ マンツーマンレッスン市場	1対1の講座	32,000	1.6%
{ グループレッスン市場	1対2以上の講座	168,000	-10.9%
幼児・子供英会話教室市場	外国語教室全体市場のうち、幼児・子供向けの教室	96,200	-0.8%
プリスクール市場	外国語教室全体市場のうち、プリスクール	24,500	8.4%
幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場	幼稚園・保育園を対象に、課内/課外プログラムとして英語レッスンの提供を行うサービス	2,000	11.1%
<b>■学習教材</b>			
書籍教材市場	書籍による語学学習用教材全体市場	44,000	3.5%
教科書	中高生向け英語教科書	5,398	-0.7%
学生向け学習参考書	補習用・受験用の英語学習参考書	15,200	1.3%
辞書	紙媒体による諸外国語辞書	7,100	-1.4%
資格対策教材	諸外国語の資格試験対策用教材	1,740	3.1%
ビジネス系教材	ビジネス向けの諸外国語一般書籍教材	2,100	45.8%
テレビ・ラジオ講座用教材	テレビ・ラジオ語学講座（諸外国語）用テキスト	12,500	5.9%
語学独習用機器・ソフト	語学学習専用機器及びセット販売による教材	12,400	-8.8%
電子辞書市場	電子辞書機器	68,000	-7.9%
幼児向け英会話教材市場	幼児向けに特化したセット販売による英語教材	30,800	-11.2%
通信教育市場	添削を行う通信講座全体の市場	28,800	-1.7%
社会人向け通信教育	通信教育市場のうち、社会人向け通信教育	10,800	-4.4%
学生向け通信教育	通信教育市場のうち、受験用・学生向け通信教育	18,000	0.0%
e-learning市場	PC上で学習する語学学習用e-learning	2,900	3.6%
ソフトウェア市場	PC上で学習するCD-ROM、ゲーム機を利用した語学学習用教材	6,200	-20.5%
<b>■周辺ビジネス</b>			
語学試験市場	各言語の資格試験等の総市場	17,900	1.1%
留学斡旋市場	留学ビジネス・留学エージェント事業の総市場	18,000	-13.9%
通訳・翻訳ビジネス市場	通訳・翻訳に関わるビジネスの総市場	215,500	-4.2%
<b>■多言語</b>			
英語以外の他国語市場(通信・通学)	語学ビジネス全体から見た場合、当市場は、「外国語教室全体市場」及び「通信教育市場」に含まれるため、当市場自体は語学ビジネス全体市場規模には含んでいない。	9,850(4言語計)	-1.5%
中国語		3,750	-1.3%
韓国語(ハングル)		2,550	-1.9%
フランス語		1,925	-1.3%
ドイツ語		1,625	-1.5%
■語学ビジネス総市場 (周辺ビジネス除く)	多言語以外のすべてのカテゴリを合わせた語学ビジネス総市場	515,800	-5.5%
■語学ビジネス総市場 (周辺ビジネス含む)		767,200	-5.2%

図1: 語学ビジネス市場規模推移



矢野経済研究所推計

注1: (予)は予測値

注2: 周辺ビジネスとは、語学試験市場、留学斡旋市場、通訳・翻訳ビジネス市場をさす。

注3: 本調査より、「幼稚園・保育園向け英語講師派遣市場」を語学ビジネスとして新たに組み入れており、過去の市場規模も遡及して修正している。

注4: 事業者売上高ベース

図2. 成人向け外国語教室市場規模推移

図2-1. ニーズ別成人向け外国語教室市場規模推移

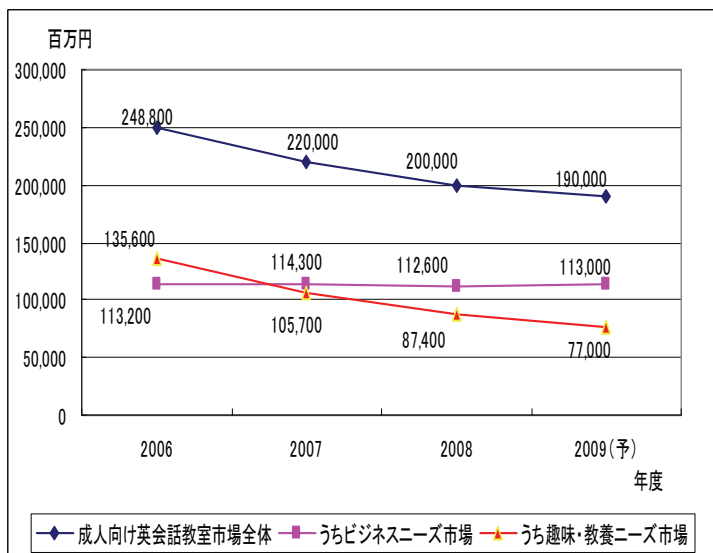
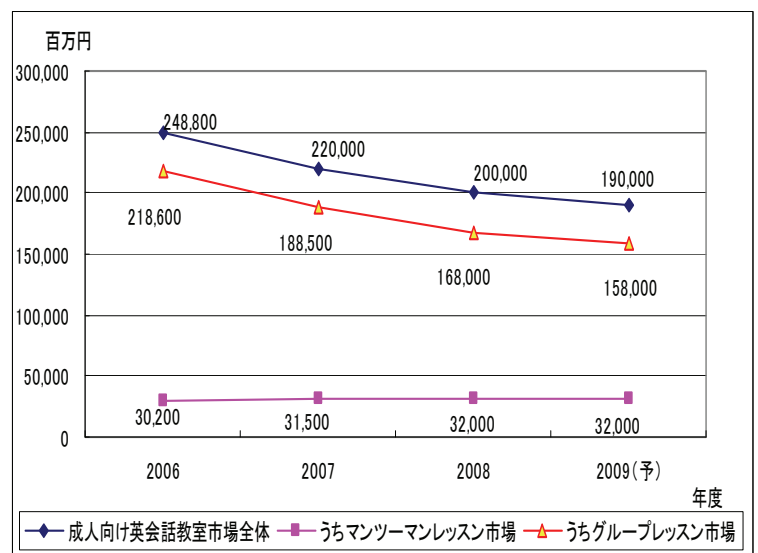


図2-2. ニーズ別成人向け外国語教室市場規模推移



注5: (予)は予測値

注6: 事業者売上高ベース